



## 平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月2日

上場会社名 株式会社 三井ハイテック 上場取引所 東 福  
 コード番号 6966 URL http://www.mitsui-high-tec.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三井 康誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 白川 裕之 TEL 093 (614) 1111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月2日 配当支払開始予定日 \_\_\_\_\_  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年1月期第3四半期の連結業績（平成28年2月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	48,319	△0.1	1,151	△12.3	1,182	△34.8	1,214	△21.7
28年1月期第3四半期	48,370	△1.3	1,312	△48.1	1,813	△35.3	1,551	△30.7

(注) 包括利益 29年1月期第3四半期 △1,424百万円 (一%) 28年1月期第3四半期 952百万円 (△70.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	31.02	—
28年1月期第3四半期	37.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年1月期第3四半期	60,452	47,016	77.5
28年1月期	57,417	49,722	86.4

(参考) 自己資本 29年1月期第3四半期 46,871百万円 28年1月期 49,592百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	7.00	—	6.00	13.00
29年1月期	—	5.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年1月期の連結業績予想（平成28年2月1日～平成29年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	1.4	1,400	△24.7	1,400	△41.4	1,300	△28.5	33.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年1月期3Q	42,466,865株	28年1月期	42,466,865株
② 期末自己株式数	29年1月期3Q	3,815,217株	28年1月期	2,560,918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年1月期3Q	39,147,618株	28年1月期3Q	41,212,661株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想及び配当予想の修正については、本日（平成28年12月2日）公表の「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。
2. 上記の業績予想は当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の低迷や為替相場の円高基調に伴う企業収益の悪化及び設備投資の伸び悩みなどにより景気は先行き不透明な状況で推移いたしました。

米国経済は雇用環境の改善及び設備投資が下支えとなり、緩やかな景気回復が続いており、欧州経済も英国のEU離脱問題で政治・経済が不透明ななか、底堅い伸びを維持しております。一方、中国及び新興国においては、経済成長率の鈍化等により先行き不透明な状況が継続しております。

そのなかで、当社グループの主たる供給先である自動車業界においては、環境対応車向け電機部品の需要が堅調に推移いたしました。もう一方の柱である家電及び半導体業界でも車載向け需要は安定しておりますが、パソコン向けは低迷しております。また、スマートフォンをはじめとした情報端末向け部品の在庫調整は一段落しているものの、先行き不透明な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、省資源・省エネルギーに貢献する製品・部品の受注拡大及びグローバルな新規開拓に取り組むとともに全グループを挙げて生産性向上と原価低減に取り組みましたが、為替相場の円高に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は483億1千9百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は11億5千1百万円(前年同期比12.3%減)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末の為替相場が前連結会計年度末に比べ円高となり、為替差損1億3千3百万円(前年同期は3億7千7百万円の為替差益)を計上したことなどにより、経常利益は11億8千2百万円(前年同期比34.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として環境・エネルギー技術革新企業等に係る補助金収入5億2千7百万円、また、特別損失として熊本地震に係る災害による損失3億6千2百万円を計上したことにより12億1千4百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (金型)

金型事業については、超精密加工技術の追求により省資源・省エネ化などをはじめとしたお客様のニーズに対応するとともに生産性向上及び原価低減に取り組みました。その結果、売上高は51億7千9百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益は5億4百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

#### (電子部品)

電子部品事業については、成長が見込まれる車載向けや環境対応製品向け及びスマートフォンをはじめとした情報端末向けの受注拡大に取り組むとともに、生産性向上と原価低減に取り組みました。しかしながら、為替相場の円高に推移したことにより、売上高は264億5千9百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益は5億6千1百万円(前年同期比66.2%減)となりました。

#### (電機部品)

電機部品事業については、試作から量産までの一貫体制を活かし、車載及び家電用のモーターコアの拡販活動と生産性向上に取り組みました。その結果、売上高は179億5千2百万円(前年同期比19.6%増)、営業利益は17億2千1百万円(前年同期比139.4%増)となりました。

#### (工作機械)

工作機械事業については、国内、米国、中国及び新興国での顧客開拓に取り組みましたが、設備投資の先送り等により売上高は9億1千7百万円(前年同期比8.9%減)、営業損失は2千2百万円(前年同期営業利益3千2百万円)となりました。

なお、上記セグメント売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高21億8千8百万円を含めて表示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	11,858	13,012
受取手形及び売掛金	10,616	10,179
電子記録債権	890	1,459
有価証券	1,000	2,700
商品及び製品	2,509	2,321
仕掛品	1,613	1,747
原材料及び貯蔵品	1,249	1,226
繰延税金資産	309	213
その他	1,227	1,450
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	31,262	34,300
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	28,240	27,639
減価償却累計額	△21,641	△21,413
建物及び構築物(純額)	6,599	6,226
機械装置及び運搬具	46,922	46,413
減価償却累計額	△39,514	△38,620
機械装置及び運搬具(純額)	7,407	7,793
工具、器具及び備品	20,252	20,537
減価償却累計額	△18,107	△18,541
工具、器具及び備品(純額)	2,144	1,996
土地	6,775	6,152
建設仮勘定	1,016	2,027
有形固定資産合計	23,943	24,195
無形固定資産	295	295
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,041	816
繰延税金資産	13	20
退職給付に係る資産	54	133
その他	806	691
投資その他の資産合計	1,916	1,661
固定資産合計	26,154	26,152
資産合計	57,417	60,452

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,495	3,902
1年内返済予定の長期借入金	—	637
未払法人税等	117	134
役員賞与引当金	48	26
その他	3,007	3,838
流動負債合計	6,670	8,539
固定負債		
長期借入金	—	4,262
役員退職慰労引当金	120	134
事業整理損失引当金	709	370
退職給付に係る負債	24	7
その他	169	121
固定負債合計	1,023	4,897
負債合計	7,694	13,436
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,403	16,403
資本剰余金	17,252	17,252
利益剰余金	16,942	17,721
自己株式	△1,732	△2,573
株主資本合計	48,866	48,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	381	253
為替換算調整勘定	371	△2,171
退職給付に係る調整累計額	△26	△15
その他の包括利益累計額合計	726	△1,932
非支配株主持分	130	144
純資産合計	49,722	47,016
負債純資産合計	57,417	60,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)
売上高	48,370	48,319
売上原価	41,589	41,794
売上総利益	6,780	6,525
販売費及び一般管理費	5,468	5,374
営業利益	1,312	1,151
営業外収益		
受取利息	56	40
為替差益	377	—
投資有価証券売却益	—	80
その他	102	135
営業外収益合計	536	256
営業外費用		
支払利息	0	5
為替差損	—	133
固定資産除売却損	19	44
その他	15	41
営業外費用合計	34	225
経常利益	1,813	1,182
特別利益		
補助金収入	114	527
事業整理損失引当金戻入額	—	108
特別利益合計	114	635
特別損失		
災害による損失	—	362
特別損失合計	—	362
税金等調整前四半期純利益	1,928	1,456
法人税等	361	222
四半期純利益	1,567	1,234
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,551	1,214



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純利益	1,567	1,234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	△127
為替換算調整勘定	△677	△2,542
退職給付に係る調整額	1	11
その他の包括利益合計	△614	△2,659
四半期包括利益	952	△1,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	936	△1,445
非支配株主に係る四半期包括利益	16	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	3,048	29,487	15,004	829	48,370	—	48,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,034	1	—	177	2,214	(2,214)	—
計	5,083	29,489	15,004	1,006	50,584	(2,214)	48,370
セグメント利益	415	1,662	718	32	2,829	(1,516)	1,312

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,516百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	金型	電子部品	電機部品	工作機械	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	3,209	26,459	17,952	698	48,319	—	48,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,969	0	—	218	2,188	(2,188)	—
計	5,179	26,459	17,952	917	50,508	(2,188)	48,319
セグメント利益又は損失(△)	504	561	1,721	△22	2,764	(1,612)	1,151

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,612百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。